

## 「高等学校 標準現代の国語」

科目	現代の国語	単位	2	学年	1	
使用教科書	高等学校 標準現代の国語(第一学習社)			副教材等	標準現代の国語 学習課題集(第一学習社)	

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	なぜ本を読むのか (又吉直樹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。</li> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。</li> <li>・読書の効用について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。</li> <li>・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。</li> <li>・読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	言葉遣いとアイデンティティ (中村桃子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。</li> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>・言葉遣いの役割について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。</li> <li>・本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証しようとしている。</li> <li>・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

種	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	水の東西（山崎正和）	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。</li> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。</li> <li>東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>調べたことを整理して、説明資料にまとめる。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の効果的な接続のしかたを理解する。</li> <li>主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</li> <li>個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。</li> <li>水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	法律の改正に関わる文章を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。</li> <li>情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。</li> <li>異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。</li> <li>複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
4	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> <li>異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。</li> <li>事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。</li> <li>読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認、書き直す手順を学ぶ。</li> <li>異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。</li> <li>複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
5	人はなぜ仕事をするのか（内田樹）	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。</li> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。</li> <li>筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>例示などの修辞を理解する。</li> <li>主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。</li> <li>積極的に比喩や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。</li> <li>積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。</li> <li>本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。</li> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。</li> <li>・持続可能性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。</li> <li>・個別の事例を一般化する文章の効果的な組立て方を理解し、学習課題に即して解釈を深めようとしている。</li> <li>・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。</li> <li>・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。</li> </ul>	○	○	○	発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	黄色い花束（黒柳徹子）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。</li> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。</li> <li>・戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。</li> <li>・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。</li> <li>・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	論理分析【具体と抽象】 日本語は世界をこのように捉える （小浜逸郎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</li> <li>・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 要約文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	論理分析【推論】 AIは哲学できるか （森岡正博）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</li> <li>・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 要約文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a			評価方法
			b	c		
3	待遇表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。</li> <li>敬語表現が選択される視点を理解する。</li> <li>相手や場に応じた表現が選択できるようになる。</li> <li>積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
3	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。</li> <li>相手により伝わりやすい表現方法を理解する。</li> <li>積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。</li> <li>積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。</li> <li>積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。</li> <li>積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
5	論理的な表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。</li> <li>説得力を意識した表現のしかたについて理解する。</li> <li>進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
5	情報の探索と選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を探す方法を理解する。</li> <li>情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。</li> <li>情報の探索と選択を実践できるようになる。</li> <li>進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</li> <li>進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。</li> <li>情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
3	情報源の明示	<ul style="list-style-type: none"> <li>引用の目的とその効用を理解する。</li> <li>引用の具体的な方法を理解する。</li> <li>引用を適切に活用できるようになる。</li> <li>進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとしている。</li> </ul>	○ ○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
3	スピーチで自分を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。</li> <li>他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。</li> <li>進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。</li> <li>進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。</li> <li>積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。</li> </ul>	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
3	合意形成のための話し合いを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方のルールを理解する。</li> <li>論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。</li> <li>実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。</li> <li>今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。</li> <li>進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。</li> <li>積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ

# 「高等学校 新編言語文化」

科目	言語文化	単位	2	学年	1	
使用教科書	高等学校 新編言語文化(第一学習社)			副教材等	新編言語文化 学習課題集(第一学習社)	

<b>学習の到達目標</b>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとめている。

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	古文の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。</li> <li>・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとめている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 リフレクションシート
1	鳩と蟻のこと 古文を読むために1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。</li> <li>・『イソップ物語』の翻訳という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・主として歴史的仮名遣いについて、文語のきまりを理解する。</li> <li>・歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。</li> <li>・粘り強く口語訳と対照して説話の内容を捉え、学習課題に沿ってわかったことを伝え合おうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	島の少年一船(内海隆一郎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を捉える。</li> <li>・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・叙述を基に登場人物の心情や人物像を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。</li> <li>・比喩や方言といった表現の効果について、学習課題に従って評価しようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	よろこびの歌(宮下奈都)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。</li> <li>・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・読書の意義と効用を理解する。</li> <li>・叙述を基に主人公の心情を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。</li> <li>・叙述された状況や心情を捉え、学習課題に沿って、異なる視点から一部を書き換えようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	道程（高村光太郎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>近代詩の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	小景異情（室生犀星）	<ul style="list-style-type: none"> <li>文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の思いを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。</li> </ul>		○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	六月（茨木のり子）	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた世界への思いを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>題名や内容に注意して、この詩で理想とする世界についてまとめようとしている。</li> </ul>		○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	I was born（吉野弘）	<ul style="list-style-type: none"> <li>散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。</li> <li>「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。</li> </ul>		○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	羅生門（芥川龍之介）	<ul style="list-style-type: none"> <li>下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</li> <li>小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> <li>老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。</li> <li>典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	ほねとたね（川上弘美）	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公と男子二人の人物像を会話や動作から丁寧に把握し、人との関係が主人公にもたらした心情の変化を読み取る。</li> <li>小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>段落構成や展開を積極的に把握し、学習課題に沿ってまとめようとしている。</li> <li>主人公の視点や観点を理解し、心情の変化を読み取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	大切な言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	手毬唄	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	〔言語活動〕折句を用いて短歌を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>折句を用いて、感じたことを短歌で表す。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 短歌の提出 リフレクションシート
2	よだかの星(宮沢賢治)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に含まれる寓意を理解し、主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考える。</li> <li>小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>冒頭の一文が果たす役割を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に発表しようとしている。</li> <li>作品の寓意を積極的に理解し、「生きる」ことについて考えたことを進んで発表しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	鏡(村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。</li> <li>小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>人の内面に潜む恐怖の正体を進んで考察し、解釈したことを説明しようとしている。</li> <li>恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	わたしはマララ(マララ・ユスフザイ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不合理な暴力と闘う女性の体験と信念を知り、日本以外の世界の出来事にも興味・関心を持つ態度を養う。</li> <li>自伝的小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>結びの文章に表れた筆者の信念を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に話し合おうとしている。</li> <li>紛争や教育差別などの問題に興味を持ち、本文の学習を生かして、調べたことを発表しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	人形浄瑠璃文楽―三業一体の技	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。</li> <li>我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。</li> <li>言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。</li> <li>我が国の伝統芸能について書かれた文章を積極的に読み、自分の考えをもととしている。</li> <li>継承されてきた言語文化に興味をもち、学習課題に沿って、調査した内容を説明資料にまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	祭りの笛(三浦哲郎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。</li> <li>随筆という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>「言語活動」への見通しをもって随筆を読み、我が国の伝統行事についてももの見方を深めようとしている。</li> <li>粘り強く随筆を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について評価しようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 調査とまとめ リフレクションシート
2	〔言語活動〕「祭り」をテーマに随筆を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。</li> <li>伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。</li> <li>「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 随筆の提出 リフレクションシート
1	一休ばなし 古文を読むために2	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の展開と内容を押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。</li> <li>仮名草子という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。</li> <li>積極的に説話を読み味わい、叙述に基づいて機知の内容を説明しようとしている。</li> <li>積極的に古文特有の言葉を理解し、学習の見通しをもって、単語に分けようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	〔古典のしるべ〕 平仮名の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の経過による文字の変化について理解する。</li> <li>これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。</li> </ul>	○			授業態度 発問評価 リフレクションシート
2	児のそら寝 古文を読むために3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文の世界への親しみを深める。</li> <li>説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> <li>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</li> <li>時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	なよ竹のかぐや姫	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。</li> <li>作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。</li> <li>初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。</li> <li>用言の活用について理解し、学習の見通しをもって動詞の活用表を作成しようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	〔言語活動〕 古典から受け継がれる話の由来を調べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>課題に応じて調査する。</li> <li>言語文化の継承に関心と自覚をもち、粘り強く話の由来について調べようとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	伊勢物語 古文を読むために4 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌を含む物語の読み取りを通して、古文への興味・関心を広げる。</li> <li>歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>課題に応じて調査する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>主として形容詞の活用と助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</li> <li>文化的背景を十分に理解し、作品に表れた美意識について、考えたことを積極的に伝え合おうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	徒然草 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者の関心事を自由につづった文章を読んで、古文に表れたもの見方・考え方の一端に触れる。</li> <li>随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告



回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・ 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・ 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・ 章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。</li> <li>・ 本文中に表れた教訓を積極的に読み取り、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○			学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	方丈記 〔歴史の窓〕 〔古典のしるべ〕 和漢混交文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時の世相を反映した文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。</li> <li>・ 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・ 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・ 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・ 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。</li> <li>・ 最後の一文の意味するところを粘り強く文脈の中で捉え、学習課題に沿って考えたことを発表しようとしている。</li> <li>・ 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
6	枕草子 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時の人々の生活感覚を反映した文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。</li> <li>・ 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・ 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・ 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・ 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</li> <li>・ 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	万葉・古今・新古今	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解する。</li> <li>・ 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>・ 我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。</li> <li>・ 主として和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・ 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。</li> <li>・ 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	〔言語活動〕古典の和歌を現代の言葉で書き換える(俵万智)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・ 和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>・ 『伊勢物語』との関係を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとしている。</li> <li>・ 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。</li> </ul>	○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 和歌の提出 リフレクションシート
2	奥の細道 〔古典のしるべ〕 『奥の細道』と和漢の文学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。</li> <li>・ 俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>・ 「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。</li> <li>・ 文語のきまりを理解する。</li> <li>・ 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。</li> <li>・ 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	漢文の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。</li> <li>我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 リフレクション シート
3	訓読に親しむ 漢文を読むために	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。</li> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。</li> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。</li> <li>故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。</li> <li>日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート
3	五十歩百歩 矛盾 狐借虎威	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
1	〔言語活動〕 故 事成語の由来と 意味を調べる 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に応じて調査する。</li> <li>故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 調査とまとめ 成果物の提出 リフレクション シート
5	唐詩の世界 漢詩のきまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>漢詩のきまりを理解する。</li> <li>漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。</li> <li>粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
1	日本の漢詩 漢詩のきまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>漢詩のきまりを理解する。</li> <li>今までの学習を生かして漢詩のきまりを押さえ、よまれた心情を積極的に説明しようとしている。</li> <li>我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ

教科 (科目の種類)	学 科(コース)名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
国 語	各科共通	3 年	3単位	通 年
	科 目 名	現 代 文 A		

目 標	<p>・近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯に渡って読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>
概 要	<p>1. 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。</p> <p>2. 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりする。</p> <p>3. 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>4. 近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探求して、言語文化について理解を深める。</p> <p><b>*文章を読む楽しさを味わったり、近代以降の言語文化に触れることの意義を理解したりすることを重視し、読書への関心を高め、読書の習慣を付けるようにする。</b></p>
授 業 計 画	<p>【1学期】 4月～7月</p> <p>① 随想・評論編「さくらさくらさくら」俵万智</p> <p>② 意見を述べる「意見文の書き方」校内弁論大会に向けて (1学期中間考査)</p> <p>③ 小説・詩歌編「I was born」吉野弘</p> <p>④ 随想・評論編「ミロのヴィーナス」清岡卓行 (1学期期末考査)</p> <p>⑤ 小説・詩歌編「ナイン」井上ひさし</p> <p>【2学期】 9月～12月</p> <p>⑥ 小説に親しむ「山月記」中島敦 (2学期中間考査)</p> <p>⑦ 随想・評論編「『身銭』を切るコミュニケーション」内田樹 (2学期期末考査)</p> <p>⑧ 小説・詩歌編「信濃路」(短歌), 「春雷」(俳句)</p> <p>【3学期】 1月～2月</p> <p>⑧ 随想・評論編「思考の肺活量」鷲田清一 (学年末考査)</p> <p>⑨ 小説・詩歌編「山椒魚」井伏鱒二</p> <p><b>*生徒の実態等を考慮して、変更することもありうる。</b></p>
評 価 の 観 点	<p>1. 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>2. 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。(話す・聞く能力)</p> <p>3. 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。(書く能力)</p> <p>4. 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。(読む能力)</p> <p>5. 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。(知識・理解)</p> <p><b>※定期考査や豆テスト、発表や提出物で上記を評価する。</b></p>
教 材	<p>教科書：『現代文A』東京書籍</p> <p>副教材：『国語常識ベーシック』数研出版</p>

「実践国語」シラバス						
教科	科目名	学科(コース)名	指導学年	単位数	履修期間	使用教科書
国語	実践国語(選択)	各科共通	2学年	2単位	通年	京都書房『基礎からの国語表現の実践』
科目の目標		卒業後の社会進出を見据え、実用的な言語知識や言語感覚を習得させるとともに、積極的に他者とコミュニケーションをとり、問題解決や思考の深化を図る態度を育てる。				

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

時間		教科書単元名	主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点			評価方法等
				a	b	c	
4	1 表記	1 仮名遣いを正しく	・正しい仮名遣いを修得させる。	○		○	・ワークシート ・小テスト・定期テスト
		2 送り仮名の付け方	・今まで学んできた知識を整理し、確認する。	○		○	・ワークシート ・小テスト・定期テスト
		3 同音異義語に注意する	・特に誤りやすい同音異義語の書き分けの練習をとおして、同音異義語に関する注意力を養う。	○	○	○	・ワークシート ・小テスト・定期テスト
		4 同訓異字の書き分け	・同訓異義語の使い分けについての考え方を身につける。	○	○	○	・ワークシート ・小テスト・定期テスト
1	2 語句	2 語句	・類義語の意味の違いを考え、その文脈に応じた語をできるようにする。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
4		6 慣用的な表現	・使われやすい慣用的表現をできるだけ覚え、一つでも多く身につける。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
3	3 語句・ 文法	7 正しい敬語	・正しい敬語表現を身につける。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
5		8 文の乱れに注意する	・どういふふう書けば、自然な文になるのかを考える。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
2	4 推敲	9 推敲する	・これまでの学習の成果を振り返り、推敲の練習をする。いわゆる正しい文章になっているかをチェックする方法を身につける。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
2	5 文・表現	10 文を短くする	・文の長さについて考え、短い文の効用について学ぶ。	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
1		11 的確に伝えるために	・自分の言いたいことを読み手に的確に伝えるために、気をつけるべきことを学ぶ。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
1		12 文体について意識する	・話し言葉と書き言葉の違いについて認識し、表現内容にふさわしい文体が存在することを学習する。	○	○	○	・作品 ・ワークシート ・小テスト・定期テスト
1	6 構成	13 文の役割を知る	・文には役割があることを理解し、文の形式とヤク和英の関係をとらえる。	○	○	○	・作品 ・ワークシート ・小テスト・定期テスト
5	7 表現	14 要約のコツ	・実際の文章作成で役立つように、要約のコツを身につける。	○	○	○	・観察 ・発表 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
2	8 構成・ 執筆	15 接続詞を使い分ける	・接続詞を考える態度を身につけ、文章の流れを意識して論理的な文章を書く力を養う。	○	○	○	・観察 ・相互評価、自己評価
4		16 段落に分けて書く	・段落を用いて意味のまとまりを意識し、そのまとまりと要点を明確にして文章化する。		○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
6		17 文章作成の実際	・実際に文章を作成する手順を学ぶ。	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
2	9 実践	18 自分はどんな人？	・自分を知ると共に、分析の際に、多角的な視点から見つめることの重要性を理解する。		○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価

5	10 実践	19 初対面でも伝わる自己PR	・自分のよさを初対面の人にわかってもらうには、どのように自己PRすればよいかを考える。		○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト
6		20 将来の自分を考える	・今の自分の状況を認識し、将来の自分についてイメージを膨らませる。		○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト
5		21 読みやすい履歴書	・履歴書を書く際の留意点を知って、自信を持って履歴書をかけるようにする。	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト
5		22 面接での受け答え	・面接でどのように受け答えをすればよいかを学ぶ。	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト
5		23 形式に沿った手紙文	・社会に出てから戸惑うことのないように、手紙の一般的な書き方について学ぶ。	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト
1		24 志望動機の文章を書く	・文章を作成する実践として、自分の志望動機を文章にまとめる。	○	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト・定期テスト

教科(科目の種類)	学 科(コース)名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
国 語	各科共通	3 年	2 単位	通 年
	科 目 名	実践国語(選択科目)		

目 標	<p>・卒業後の社会進出を見据え、実用的な言語知識や言語感覚を習得させるとともに、積極的に他者とコミュニケーションをとり、問題解決や思考の深化を図る態度を育てる。</p>		
概 要	<p>〈主な言語活動〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したり討論したりする。</li> <li>優れた文章を読み、鑑賞したことをまとめたりする。</li> <li>関心をもった事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめる。</li> <li>相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり文章を書いたりする。</li> </ol> <p>*「実践国語」は「国語総合」の表現に関する内容を発展させた科目であり、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の能力を一層伸長することをねらいとしている。</p>		
授 業 計 画	<p>【1学期】 基礎編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①仮名づかいを正しく</li> <li>②送り仮名の付け方</li> <li>③同音異義語に注意する</li> <li>④同訓異字の書き分け</li> <li>⑤類義語を使い分ける</li> <li>⑥慣用的な表現</li> <li>⑦正しい敬語</li> <li>⑧文の乱れに注意する</li> <li>⑨推敲する</li> </ol>	<p>【2学期】 応用編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑩文を短くする</li> <li>⑪的確に伝えるために</li> <li>⑫文体について意識する</li> <li>⑬文の役割を知る</li> <li>⑭要約のコツ</li> <li>⑮接続詞を使い分ける</li> <li>⑯段落に分けて書く</li> <li>⑰文章構成の実際             <ol style="list-style-type: none"> <li>①主題を決める)</li> <li>②主題分析で材料をそろえる</li> <li>③構想表を作る</li> <li>④構想表をもとに文章を書く</li> </ol> </li> </ol>	<p>【3学期】 実践編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑱自分はどんな人?</li> <li>⑲初対面でも伝わる自己 PR</li> <li>⑳将来の自分を考える</li> <li>㉑読みやすい履歴書</li> <li>㉒面接での受け答え</li> <li>㉓形式に沿った手紙文</li> <li>㉔志望動機の文章を書く</li> </ol> <p>*授業計画は、生徒の実態等を考慮して変更することもあり得る。</p>
評 価 の 観 点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。(関心・意欲・態度)</li> <li>2. 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。(話す・聞く能力)</li> <li>3. 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。(書く能力)</li> <li>4. 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。(知識・理解)</li> </ol> <p>※定期考査や豆テスト、発表や提出物で上記を評価する。</p>		
備 考	<p>教材：『国語表現の実践』京都書房</p> <p>*2年次で実践国語を履修した者は、3年次で実践国語を履修することはできない。</p>		